

会派名	維新会
-----	-----

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
4	一般会計	私立幼稚園施策推進費補助事業	保健福祉分科会

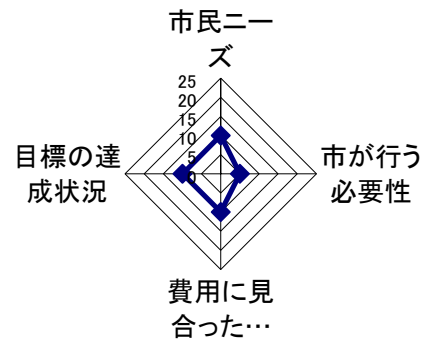
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 評価の視点 ・補助事業対象者(市内幼稚園6園)から見た視点で記入。	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	10	補助を受けた園4つ, 受けない園が2つということで, どちらかというとなーズが高いのかもしれないが, 園児と保護者がどう感じているのかを考えるとズレがある。
(2) 市が行う必要性 評価の視点 ・市が補助金を出す必要があるかどうかの視点で記入。	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	5	食育に特化した補助事業で, 「食育」の意味にバラツキがある。その中で園児数100人を超える所と, 数十人の園とで同額というのはいかがなものか。公平性に欠けるという点からも必要性は低い。
(3) 費用に見合った効果 評価の視点 ・本来の意味の「食育」になっているのかどうかを踏まえて記入。※資料「実績報告書」を参照。	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	10	「食育の意味」を体験型ととらえるのが良いと思うが, 行事食等に偏りがみられ効果的かどうか疑問である。
(4) 目標の達成状況 評価の視点 ・事業の目的や実施要綱に沿ったものになっているか。	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	10	園との取組みや方向性が異なっていることから, 不公平感を感じる。補助金ぎりぎりの収支などあり補助金を使わなくては, という感じを受ける園もある。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	35
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

「食育」とは, 幅の広い言葉であるため(個々人により意味も異なる)体験型を重視するなど(たとえば農作物の育成)の条件を加える事も必要ではないか。目的を明確化し平等性, 公平性が保てるよう園児のための補助金であってほしい。

課題と反省

市の補助金は市内事業者から購入するようにしたら良いのでは。

会派名	公明党
-----	-----

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
4	一般会計	私立幼稚園施策推進費補助事業	保健福祉分科会

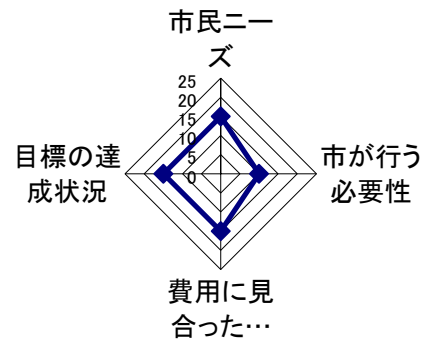
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 評価の視点 ・補助事業対象者(市内幼稚園6園)から見た視点で記入。	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ○ ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	15	補助金はあったほうが良いが、食育に限らない、独自の施策への補助金の方がよりニーズが高く、使える補助金となる。
(2) 市が行う必要性 評価の視点 ・市が補助金を出す必要があるかどうかの視点で記入。	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ○ ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	10	幼児教育で食育は補助金が無くても実施しているので、その理由から、この補助金の必要性は低い。
(3) 費用に見合った効果 評価の視点 ・本来の意味の「食育」になっているのかどうかを踏まえて記入。※資料「実績報告書」を参照。	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ○ ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	15	畑を借りたり、苗をそろえたり、収穫と調理までのプロセスを考えると、妥当な予算である。
(4) 目標の達成状況 評価の視点 ・事業の目的や実施要綱に沿ったものになっているか。	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ○ ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	15	実施要綱に沿って、親子で食育を行っているので、成果があると思う。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	55
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
1 不適正である 0点		

事前評価レーダーチャート



理由

作物を栽培して観察や収穫の喜びを体験すること、また、それを調理してみんなで楽しく食べるなど、幼児期の食育は大切である。しかし、毎年全幼稚園が補助金の申請をしているわけではなく、幼保の公平性・均衡化を図るという目的が達成しているとは思えない。もう一度検討すべきである。

課題と反省

食育だけでなく、現場の声を聴き、独創的な幼児教育に対する補助事業にも目を向ける取り組みが課題である。

平成28年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	日本共産党
-----	-------

NO.	予算科目	担当分科会
4	一般会計 私立幼稚園施策推進費補助事業	保健福祉分科会

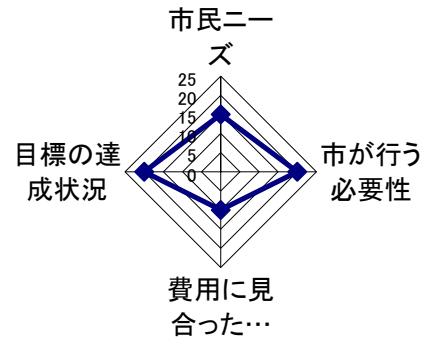
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 評価の視点 ・補助事業対象者(市内幼稚園6園)から見た視点で記入。	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ○ ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	15	補助事業としての内容に問題ある。
(2) 市が行う必要性 評価の視点 ・市が補助金を出す必要があるかどうかの視点で記入。	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ○ ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	20	継続的に補助する必要がある。
(3) 費用に見合った効果 評価の視点 ・本来の意味の「食育」になっているのかどうかを踏まえて記入。※資料「実績報告書」を参照。	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ○ ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	10	内容を考える必要がある。
(4) 目標の達成状況 評価の視点 ・事業の目的や実施要綱に沿ったものになっているか。	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ○ ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	20	これまでは行事予算としての効果はあった。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	65
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由
継続する必要があるが内容をもう少し検討していくべき。

課題と反省
 全部の幼稚園が望む内容を考えるべき

会派名	もりや清流会
-----	--------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
4	一般会計	私立幼稚園施策推進費補助事業	保健福祉分科会

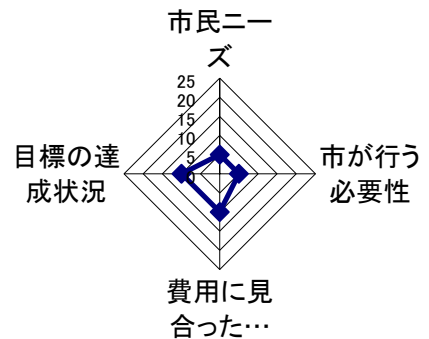
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 評価の視点 ・補助事業対象者(市内幼稚園6園)から見た視点で記入。	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	5	昨年度の実績を見ても、6園中3園の申請状況となっているため。
(2) 市が行う必要性 評価の視点 ・市が補助金を出す必要があるかどうかの視点で記入。	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	5	各幼稚園の取り組み事項として、自らの財源で行うべきと考えられる。
(3) 費用に見合った効果 評価の視点 ・本来の意味の「食育」になっているのかどうかを踏まえて記入。※資料「実績報告書」を参照。	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	10	実施している各幼稚園の事業報告の内容に関しても、ハロウィン・クリスマス会・ひな祭り等の行事の予算もあり本来の趣旨に沿っていない面がある。
(4) 目標の達成状況 評価の視点 ・事業の目的や実施要綱に沿ったものになっているか。	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	10	食育という目的が補助事業により達成されているとは考えにくい。また、実施要項に関しても食育のみの方針となっていないので訂正が必要と考える。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	30
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

平成4年から私立幼稚園連合会の要望で実施されている事業だが、事業成果が見えづらく幼児教育の充実に結びついていないのか疑問である。また、守谷市補助金審議会からの指摘事項についても事業目的が通常の幼稚園の活動内容と重複し、特に補助の必要性がない事や、要綱の見直しが指摘されており問題があると考えられる。

課題と反省

会派名	もりや創世会
-----	--------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
4	一般会計	私立幼稚園施策推進費補助事業	保健福祉分科会

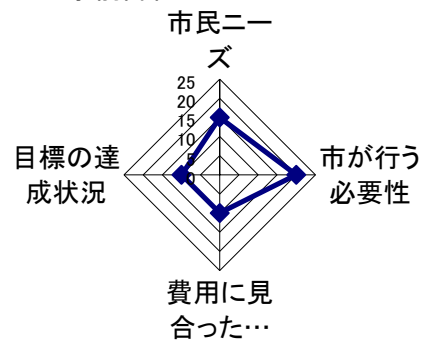
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 評価の視点 ・補助事業対象者(市内幼稚園6園)から見た視点で記入。	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ○ ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	15	6園中、年度によってバラツキは有るが、申請園が継続して有る事を見るとニーズは有る。申請手続きが簡素化されれば申請は増える。
(2) 市が行う必要性 評価の視点 ・市が補助金を出す必要があるかどうかの視点で記入。	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ○ ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	20	幼稚園教育要綱による食育推進に沿っており、保育園には同様な補助が市から出されている、幼保の公平性からみて市の補助は必要。
(3) 費用に見合った効果 評価の視点 ・本来の意味の「食育」になっているのかどうかを踏まえて記入。※資料「実績報告書」を参照。	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ○ ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	10	野菜の育成・収穫や料理教室は幼少期の食育には効果があると思われるが、6園全てが申請していない、しかも予算が使い切れていない。同様な行事を実施しているが請求してこない園もあり、内容について要検討。
(4) 目標の達成状況 評価の視点 ・事業の目的や実施要綱に沿ったものになっているか。	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ○ ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	10	事業名からは事業目的が不明確な為、達成状況が見えない。事業名は食育補助事業とし、6園全てが食育推進の施策で参加すべき。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	55
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

実施内容(実績報告書)を見ると、毎年継続的に実施している行事の食事材料費となっているが、野外での芋ほりや野菜の収穫など農作物の育成体験や親子での料理教室を通して食育を推進していく事は、食習慣の形成には効果が有るとされる。事業名称を食育推進補助事業とし継続していくべきと考える。

課題と反省

平成28年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	もりや未来
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
4	一般会計	私立幼稚園施策推進費補助事業	保健福祉分科会

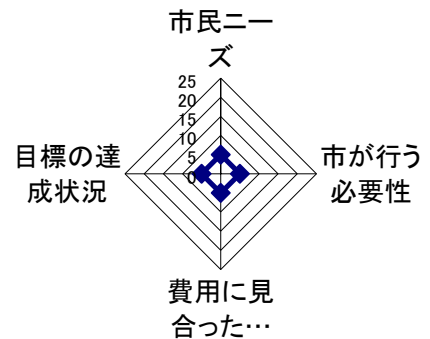
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 評価の視点 ・補助事業対象者(市内幼稚園6園)から見た視点で記入。	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	5	平成4年に私立幼稚園連合会からの要望で事業を開始したが、平成27年度においては、私立幼稚園連合会6園中3園のみの実施となっている。
(2) 市が行う必要性 評価の視点 ・市が補助金を出す必要があるかどうかの視点で記入。	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	5	食育は推進すべきであるが、補助金を受けずに実施している幼稚園もある。
(3) 費用に見合った効果 評価の視点 ・本来の意味の「食育」になっているのかどうかを踏まえて記入。※資料「実績報告書」を参照。	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	5	各幼稚園の事業報告の内容を精査すると、イベント的な行事に使用しており、本来の目的とはかけ離れている。
(4) 目標の達成状況 評価の視点 ・事業の目的や実施要綱に沿ったものになっているか。	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	5	各園の食育に対する活動内容がイベントと重複しており、本来の目的(食育)に沿っていない。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
2	6 きわめて良好である 100点	20
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

平成22年度からは、食育に限定した補助事業となっているが、成果が見えづらい。補助金を申請していない園でも食育は実施しており、補助金なしでも実施可能であると考えます。

課題と反省